

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net



深く、秋を。

大雪山からの雪便りは平野部まで届こうとしています。
深まりゆく秋。景色は黄金色です。
かおる通信76号をお届けします。
ご一読賜れば幸いです。

旭川市議会議員

笠木かおる

課題に向きあう。

10月11日、第3回定例会市議会が閉会しました。私は9月23日に一般質問にたちました。

41年間、市民に親しまれた西武旭川店の跡をどうするのか、台風被害の早期復旧、JR赤字路線の問題、新庁舎建設の基本計画、旭川空港の民営化、市立病院の経営改善など、課題は山積しています。なによりも市民生活。みんなの居場所と出番のある街づくりに、引き続き全力投球して参ります。



台風被害の声に寄り添う



8月に北海道を直撃した台風7号・11号・9号の被害は甚大です。市は第3回定例会で農地の復旧や道路・河川の整備に4億6千万円を緊急に追加補正しました。営農の継続と生活支援に引き続きの対策が求められています。

特に同じ被害を繰り返さないために、ペーパン川、倉沼川、雨紛川、辺別川などの河川改修や洗掘工事が急がれます。国や道に、スピード感のある対応を要請していきます。

惜しまれて、西武旭川店が閉店

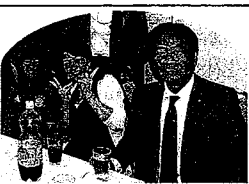


41年間、旭川の中で市民に親しまれてきた西武旭川店が9月30日、閉店しました。今後のシナリオは描かれていません。

私は、今すぐA館・B館ともファッションや雑貨、食料品などの物販を中心とするテナントで埋め、今までと同じ業態の商業施設を継続することは現実的に無理だと思っています。

だとするならば、旭川の玄関口でもあり顔でもある場所にどのような施設が将来、一番望ましいのか、新鮮でワクワクする新しい青写真を描いて形にしていかなければなりません。「その主役は市民で、行政は事務局」、そんな街づくりを進めたいものです。

【近況】相変わらず長女・亜以夫婦と孫3人との生活。太志くん(小6)、匡志くん(小4)とも最近大きくなり、ひなたちゃん(年長)はお茶目の真っ盛り。毎日少しずつ成長しています。次女香葉もジャマイカで頑張っているようで、平安がなによりと願う最近です。



北の鉄路。



JR北海道は、JR単独で維持することが困難な線区を公表し、地元自治体と協議を開始したいとの意向を示しています。

その対象線区に富良野線、石北線、宗谷線が入っているといわれ、道北の鉄路の維持が大きな課題となっています。住民生活や物流、地方創生、観光など様々な面から、地方路線を守るため、旭川市がリーダーシップをもって国や道、JRに対応していくことが必要です。(写真:札幌での対策会議 7月29日)

新庁舎建設へ。皆様のご意見を。



旭川市議会の市庁舎整備調査特別委員会の取りまとめ作業が大詰めを迎えています。議会として、どのような新庁舎が望ましいかを記する調査報告書を12月議会に提案する予定です。特別委員会委員長の立場で、各議員はもとより市民の皆さまに納得いただける報告書の作成に努めていきます。

笠木かおる・夏のつどいに過去最高の人出



7月27日、「笠木かおる君を囲む夏のつどい」を開いていただきました。過去最高の650名を超える皆さまに足をお運びいただきました。旭川の現状を打破し、未来の旭川の豊かさを求め引き続きがんばる決意です。心から感謝を込めて。

笠木かおる杯パークは雨で中止

8月20日にパークランド嵐山で行われた第16回笠木かおる杯パークゴルフ大会は、雨のためスタートをせず、用意した賞品は「抽選会」に切り替え手渡しました。悪天候の中、出場者360名、ほぼ全員が会場まで来られたことに頭がさがりました。ありがとうございました。



共生園まつりに安倍りつ子さんが登場



8月6日、お天気に恵まれ「共生園まつり」が盛大に開かれました。ヨサコイ・北の大地、木嶋常二・澤浩子ショーに続き、今年はデュエットの女王・安倍りつ子さんがボランティアで登場。私も半田和子施設長とともに「今夜は離さない」を熱唱させていただきました。

共生園スタッフ、ご家族、地域の皆さん、そして主役の利用者様の総合力で盛り上がったお祭りでした。

2016年 平成28年 9月24日 土曜日

北 海 道 新 報

一般質問

第3回定例会の一般質問では、JR赤十字線の維持と西武旭川店閉店への対応のほか、合葬式墓地と三浦綾子文学の道についても質問しました。要旨は次の通りです。

◆合葬式墓地

(笠木) 合葬式墓地を整備することによって、逆に、先祖や家族を敬い、偲ぶ、尊ぶという日本人の大切な心が損なわれてはいけません。
 (答弁) お墓を守る、大事にするといった気持を醸成できる施設をつくる。
 (笠木) 使用許可書の発行は、即日許可すべきではない。
 (答弁) 慎重な取り扱いを行う。

◆三浦綾子文学の道・生家の活用

(笠木) 三浦綾子さん、光世さんが暮らした書斎の活用は。
 (答弁) 三浦財団とどのような連携が可能かについて考えていく。
 (笠木) 三浦綾子文学の道の整備について所見を開かせられたい。
 (答弁) 国道237の交差点から見本林までを整備して、三浦綾子記念文学館への期待感が高まるよう文化的な雰囲気づくりを行う。

西武テナント6割撤退
 市が説明 雇用継続、再就職は4割
 旭川市商業会館1階「西武百貨店旭川店」は、9月15日をもって閉店した。閉店後、テナント約6割が撤退した。市は、雇用継続や再就職の支援に努めていると説明した。

8月11日、下公有地の開拓の歴史を調べました。
 現在の東光、共栄の全域と豊岡、愛宕の一部の地域で、明治30年が開拓の始まりで、第3小学校が精神的な支えにもなったようです。
 開拓記念碑の維持についても考えさせられました。



全調理師会豊岡部会



全調理師会豊岡部会（高口修会長）の顧問の委嘱を受け、7年になります。7月12日、同部会のビールパーティーが開かれました。それぞれの個性ある味と店づくりで商売繁盛を願いながら、楽しい時間が過ぎていきました。

365日毎日が敬老の日
 今年も地域の敬老会にご案内をいただきました。
 「敬老会は今日一日ですが、365日毎日が敬老の日です」。挨拶で自然にでてくるようになった言葉です。(写真:旭正地区)



動物園通り産業団地

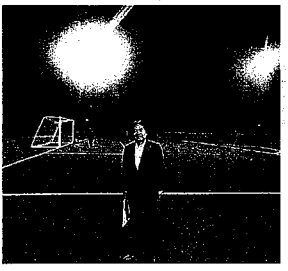
来年、造成工事が着工する「動物園通り産業団地」。7月21日、地権者の皆さんと市役所、旭川振興公社との最後の懇親会でした。自分が関わって12年に渡る誘致活動。様々な思い出を語り合いました。
 いまは、地権者の皆さん全員が新しい住居も決まり、家や納屋が全て取り壊されました。寂しさもあり複雑な思いの昨今です。

豊岡地区市民委員会結成50周年式典



8月21日、豊岡地区市民委員会（濱田敏彦会長）の結成50周年記念式典が開催されました。行政では手の届かない箇所を担われ、地域繁栄に努められた歴史。「地域力」の素晴らしさを感じる見事な式典でした。

東光球場・点灯式
 10月1日、東光スポーツ公園球場のナイター照明点灯式が行われました。旭川地区サッカー協会などと要望を続けてきたものです。人工芝なので養生もよく、多くの市民にナイター利用していただければと思います。



旭川市パークゴルフ協会設立20周年記念式典

旭川市パークゴルフ協会（谷島公丸会長）の設立20周年記念式典が7月2日、パークゴルフ草分け時から尽力された皆さん、約100人が出席して開かれました。私も顧問歴13年を表彰されました。



大雪ソーデーウォーク



7月9日、10日の両日、旭川歩こう会（荒木喜一会長）らの主催で、第25回大雪ソーデーウォークが行われました。旭川の景色、新鮮な空気は歩く環境に最高。存分に自然を満喫してくださいとの願いで、参加者を見送りました。



9月27日、母校・市立旭川小学校で障がいを持つ児童が階段を上り下りする車いすに試乗させていただきました。66キロの自分ですが、ご協力くださった先生方に感謝です。

サッカーに明け暮れた高校時代



8月25日、母校・旭商サッカー部OB有志の懇親会が開かれました。会には、当時の顧問、荻野慶博先生もご出席。先輩の重圧感を多少感じながら楽しい時間が過ぎていきました。

街頭に立つ

街頭活動の機会が多くありました。共生社会、みんなの出番と居場所がある街。そんな思いで訴えています。



大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。